

学校教育目標

- 〈徳〉やさしく～夢を持ち続ける子の育成
 〈知〉ただしく～自ら進んで学ぶ子の育成
 〈体〉たくましく～最後までやりとげる子の育成



令和三年度が終了しました

校長 高橋 秀 壽

東風吹かば 匂いおこせよ 梅の花 あるじなしとて 春を忘れそ

日本人ならよく知っている菅原道真の短歌です。私の好きな一首です。東風を「こち」と読むのがよいです。桜ではなく梅の花を詠んだことがいとおかしです。梅ですから春の始まりなのでしょう。梅から桜へと春を伝える花を目やにおいで楽しみます。北海道は梅と桜が同時に咲くことが多く一度に楽しめる一方、梅を可愛いと感じた後、桜の美と散る様子に感興を覚える時間を十分に楽しめていないのかもしれない。立ち止まり自然にうっとりすることは心を育てます。

さて、卒業式では小学校3名、中学校2名に卒業証書を手渡しました。職員には人生の節目ですから、良い緊張感をもって式を我々職員が作り上げ、立派に送り出しましょうと話していました。その通りの式になったと思います。個人ごとに思い出を話した後、卒業生に向けて次のように話しました。

「卒業生の皆さん、次の学校でも一人のできることを増やしてください。

自分が何をしたいのか、何をしようとしているのかを考えてください。

星の丘とバウムハウスを出て、社会生活で上手くやっていくにはどうすべきかを

考えてください。そして、自分を大切にしてください。」

星の丘で四回目の卒業生を見送ってきました。星の丘に通う子どもたちの可能性を信じ、日々何かある度諄々と説いて聞かせ、十八歳になっては社会の世情を足の裏でしっかり歩ける大人に成って欲しいと願うばかりでした。本校職員は児童生徒の未来を思い描き文字通り体を張って教育活動に臨んできました。真摯な行いには誠があります。一年後思いの詰まった教育を、学校生活を受けた子どもは必ず成長します。そして、教師もまた子どもから教えられ成長していきます。子ども一人一人の考えや思いを理解し、受け止め何を示してやるべきかを考え、時や場に応じて指導していくことです。星の丘の子どもたちから受け取ったことは、自分に自信がない。自分を守ることに力を入れる。他人のせいにする、他人を否定することで安心感を得る。受け入れてもらえない苛立ちをもっている。振り返りが積み重ならない。思考が刹那的である。大人を信用しない。これらを受け入れたところを始発線とし、星の丘の重点に反映し、教育活動が始まります。どの子どもも毎日登校します。学校生活を楽しみにしているのです。そこに光明を感じます。授業が分かれば笑顔になります。行事を頑張り充足感を見せてくれます。どの学校でも見られる場面です。個々の課題といえば対蹠の関係になるので、埋められない心と捉え、頑なな心の育成には何が必要かを考える4年間でした。最後に、私事ですがこの3月晦日をもって星の丘を去ります。この4年間は勉強でき楽しかったです。人として少し成長できたかもしれません。4月からは伊達中学校に赴任します。星の丘の経験を活かし、人間教育に努めたいと考えます。星の丘の子どもたちは学校が好きです。今後も星の丘の教育にご支援ご協力をいただければと存じます。ありがとうございました。さようなら。

お世話になりました!

☆今年度で異動・退職される皆様から、お別れの言葉をいただきました。

一年間という短い期間でしたが、関係者の皆様には本当にお世話になりました。星の丘で学び得たことは貴重な財産です。ありがとうございました。

小学校 教頭 本所 章宏
(伊達市教育委員会)

「星の降る丘で…」別れを告げるのはこれが二度目です。さすがに三度目はないでしょう。星の丘の一員としての日々を忘れることはありません。ありがとうございました。

小学校 教諭 原口 哲治
(室蘭市立みなと小学校)

9年という長い感じもしますが、私にとってはあっという間の星の丘生活でした。たくさんの方に支えていただいたおかげで、楽しく過ごすことができました。本当にありがとうございました。

小学校 養護教諭 藤澤 愛
(豊浦町立豊浦中学校)

皆様に支えられながら、三年間、貴重な体験をさせていただきました。この経験を生かして、次の職場でも職務に励みたいと思います。本当にありがとうございました。

中学校 教頭 竹迫 慎司
(大滝徳舜警学校後期課程)

3年間お世話になりました。教員になって初めての赴任地でしたが、多くのことを学ばせていただきました。ありがとうございました。

中学校 教諭 須崎 広大
(新潟県三条市立第三中学校)

着任してから本日まで、3年という短い時間ではありましたが、よい体験をさせてもらいました。どうもありがとうございました。

事務職員 寺畑 聡
(壮警町立壮警小学校)

この度、3月をもって退職いたします。着任当初は子どもとの向き合い方に悩み、心が折れそうになりました。それでも、ふれあいの中で楽しさや喜びが共有できた時は、大きな励ましをもらえた感じがしました。そんな日々を重ねながら14年間勤めることができました。長い間、ありがとうございました。

伊達市職員 小林 靖子(退職)

4月行事予定

- 6日(水) 定例校長会議
- 7日(木) 始業式・着任式
入学式準備
- 8日(金) 入学式
- 11日(月) 給食開始
伊達市教育研究会総会
- 12日(火) 二計測(小)
- 13日(水) 二計測(中)
- 14日(木) 前期認証式 定例教頭会議
- 15日(金) 児童生徒会 校務部会
- 18日(月) 心電図検査(中1) 実務者会議
小・中部会
- 19日(火) 月行事調整委員会
事前行動観察(中)
- 21日(木) 内科検診 研修日
- 22日(金) 学力テスト(中) 児童生徒会
なかよし集会(小)
職員会議
- 25日(月) BASE会議 小・中部会
- 26日(火) 買い物学習(中)
- 28日(木) 買い物学習予備日(中)
公園へ行く(小)
- 29日(金) 昭和の日

